

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
千葉こども専門学校	平成28年3月28日	高橋 一博	〒260-0014 千葉県千葉市中央区本千葉町8-16 (電話) 043-223-6781
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居 敏	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は学校教育法に基づき保育・教育等の関連分野に従事しようとする者に必要な知識と技能を教授し、明日の保育・教育・ビジネス界を担う人材を養成することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
保育科	2年	120	240
こども総合学科	3年	80	240

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。	
保育科	学園の教育理念に基づき、2年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場に必要な専門知識・技術を修得し、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。 (1) 専門的な知識・技術の習得 こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術を習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる (2) 現場で活躍できる実践力 学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に合った保育を実践し、質の高い保育の実践を求めて成長し続けることができる (3) 皆から信頼される人間性 社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる
こども総合学科	学園の教育理念に基づき、3年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場に必要な専門知識・技術を修得し、さらに専門性を高めて実践力と自身の強みを向上させ、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。 (1) 専門的な知識・技術の習得 こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術、こどもに関する教養やスキルを習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる (2) 現場で活躍できる実践力 学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に合った保育を実践し、質の高い保育の実践や社会の発展を求めて成長し続けることができる (3) 皆から信頼される人間性 社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる

<取得可能な資格について>

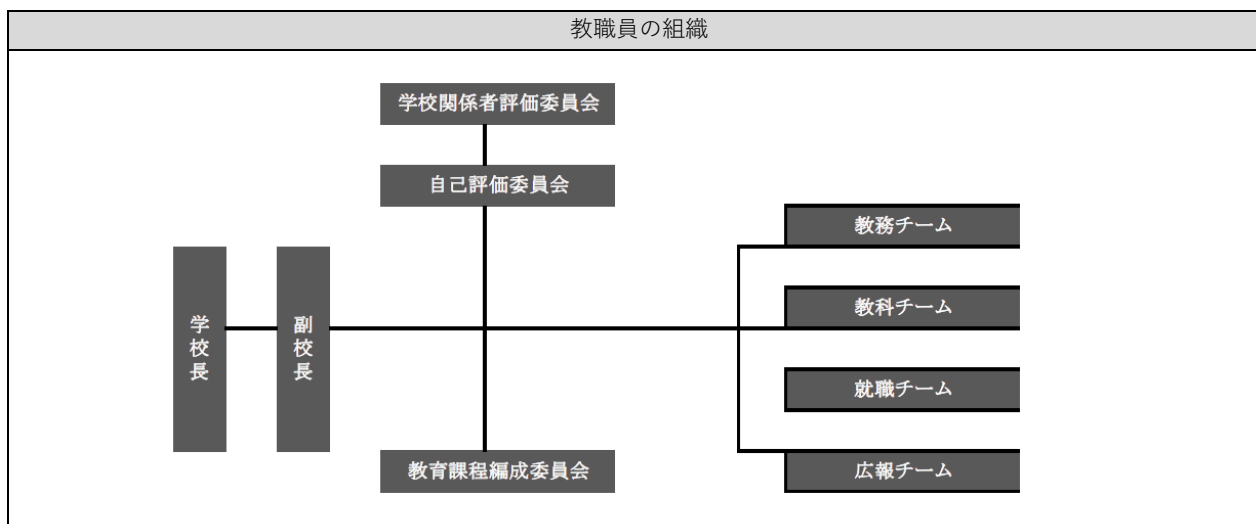
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/chiba-child/jobdata/skill.html
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/chiba-child/jobdata/jobdata.html
------	---

③教職員

専任教員	15人
兼任教員	25人
事務職員	4人



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
加藤 優	保育・教育	保育士資格・幼稚園教諭2種免許 学校法人秀志学園 幼保連携型認定こども園 泉の杜幼稚園 他
宇津木 恵子	保育・教育	保育士資格・幼稚園教諭2種免許 社旗福祉法人天光会 みどりが丘保育園園長 他
菅野 裕介	保育・教育	保育士 幼稚園教諭 2 種免許状 株式会社ディアローク 中野ここわ保育園園長
富塚 美紀	保育・教育	保育士 幼稚園教諭 2 種免許状 社会福祉法人 富岳会 若梅保育園

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/chiba-child/course/practice/
実習実技への取組	カリキュラムに則した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている。 <こども総合学科 保育科 保育実習> 75時間以上の体験実習を行う。保育業務についての理解を深め、基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。 学校と実習先との事前打ち合わせ、担当教員による実習期間中の訪問等により、適宜課題発見等のケアを行っていく。終了後には振り返りを実施し、評価に基づいたフィードバックを行うものとする。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/chiba-child/schoolguide/year.html
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応	
担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。	

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/chiba-child/guidelines/pdf/2504_c_1.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/chiba-child/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---